

英語プレゼンテーションコンテストにおける新型インフルエンザ

対応についての指針

平成 21 年 12 月 15 日制定

高等専門学校連合会会長 冷水佐壽
全国高等専門学校英語教育学会会長 亀山太一
全国高等専門学校英語プレゼン
テーションコンテスト実行委員長 森 和憲

新型インフルエンザについては、大会期間である 1 月以降も、感染の拡大が懸念されています。

全国高等専門学校英語プレゼンテーションコンテスト実行委員会（以下「プレコン委員会」という。）では、感染予防に努めるとともに万一主管校や出場校で集団感染が発生した場合に備え、以下のとおり対応についての指針を定めます。

なお、対応については、感染の大規模拡大や毒性変化など予測が難しいことから、感染状況や社会の動向など見据えながら、その都度、主催する高専連合会・プレコン委員会で協議の上、判断することとします。

この指針は現在の情勢を踏まえて定めたものであり、事態の進捗状況によっては対応策を強化又は軽減することがあります。

【基本方針】

◎大会が感染拡大の源とならないよう万全を期し、大会を実施、成功させる。

◎対応策については、開催地の感染状況を注視しつつ、開催地の対応状況、地域社会の動向などを踏まえ、慎重に判断する。なお、開催地から開催の自粛を要請された場合はその指示に従う。

1. 対応のための体制

- ・開催の可否・運営上の課題に対応するため、連合会事務局とプレコン委員会は出場校情報を集約し、共有する。

2. 主管校香川高専詫間キャンパスで集団感染が発生した場合

(1) 1 月 15 日（金）まで

- ・プレコン委員会では、閉鎖の範囲（学校・学年・学級・部活動）を考慮し、その都度、状況に応じた対応策を協議、判断するが、現状では以下を対応の指針とする。

○主管校教職員について

- *感染者、感染疑い者（インフルエンザ様症状を呈している者。以下同じ。）は参加禁止。なお、症状が改善した者で、発症後 7 日以上経過した者は参加を認める。

*濃厚接触者は、毎日検温して健康状態を確認し、感染拡大防止に留意した上で参加を認めるが、会場で咳が出るなどの症状を自覚した者は、即座にマスクを着用するよう徹底する。

(2) 大会開催期間中（1月16日・17日）

- ・プレコン委員会では、出場する各高専の感染状況を毎日把握し、必要な対応を事前に検討する。
- ・対応は上記（1）の指針に準ずる。

3. 出場校（チーム等）に感染者、感染疑い者が発生した場合

(1) 1月15日（金）まで

- ・プレコン委員会としては、感染の範囲に関わらず当該学校長の判断を尊重するが、現状では以下を判断の指針とする。

①スピーチの部出場者について

*感染者・感染疑い者については出場禁止。ただし、症状が改善した者で、発症後7日以上経過した者は出場を認める。

②プレゼンの部出場者（チーム）について

*感染者・感染疑い者については出場禁止。ただし、症状が改善した者で、発症後7日以上経過した者は出場を認める。それ以外のメンバーは、毎日検温して健康状態を確認し、感染拡大防止に留意した上で出場を認めるが、会場で咳が出るなどの症状を自覚した者は、即座にマスクを着用するよう徹底する。なお、1チームで3人そろわない場合は、出場は認めるが、審査の対象外とする。

③出場校引率教職員等について

*感染者・感染疑い者については出場禁止。ただし、症状が改善した者で、発症後7日以上経過した者は出場を認める。それ以外のメンバーは、毎日検温して健康状態を確認し、感染拡大防止に留意した上で出場を認めるが、会場で咳が出るなどの症状を自覚した者は、即座にマスクを着用するよう徹底する。

(2) 大会開催期間中（1月16日・17日）

- ・チームメンバーなど出場校関係者について、上記（1）の指針に準ずる。

4. 大会期間中の実施会場における主管校の対応

(1) 感染疑い者が発生した場合

- ・コンテスト関係者、観覧者の中から、感染疑い者が発生した場合、即時に救護室へ保護し、出場校の責任において、医療機関へ搬送する。
- ・出場チーム関係者、主管校関係者等のうち濃厚接触者は、毎日検温して健康状態を確認し、感染拡大防止に留意した上で参加を認める。

(2) 運営要員の確保

- ・審査員などの感染に備え、代替要員を手配する。

(3) 感染拡大・予防のための対策

- ・対策については、高等専門学校連合会が主催する行事での対策を踏まえて計画する。

①消毒液の設置

*実施会場を検証し、以下を参考に設置
会場等入口（施設側で設置の場合は除く。）

②感染予防ポスター等の掲示

* 会場入口や消毒液設置場所に掲示する。

③別室の確保

*救護室の他に、感染疑い者を一時的に収容する別室を用意する。なお、救護室は他に確保できる部屋がない場合を除き感染疑い者には使用しない。

(4) 保健所、医療機関等についての対応

- ・開催地の保健所にコンテストの開催を伝え、必要な助言をもらう。
- ・休日診療所を特定し、新型インフルエンザに対応できるか確認する。

5. 事務局への報告

出場校は、チーム関係者に感染者や感染疑い者が発生した場合、直ちに連合会事務局と香川高専
詫間に感染者や感染疑い者の状況を詳細に報告する。

1月12日（火）13時の時点で出場辞退する学校が多い場合は、連合会とプレコン委員会
がコンテストの実施について協議し、大会中止の場合は、1月12日中に各学校へ連絡する。

*連合会事務局 電話 03-5484-6283

*香川高専詫間 電話 0875-83-8517

6. その他

- (1) 参加者は、旅行出発前に検温を行い、発熱や咳等の症状がある者は参加しないこと。
- (2) 参加者は、大会前及び大会期間中は毎日検温すること。
- (3) 参加者は、旅行期間中は保険証、体温計及びマスクを持参すること。